

2014年6月4日

横浜ゴム、今年も“雲へ向かうレース”に オリジナル EV レーシングカーと低燃費タイヤで参戦

横浜ゴム（株）は6月29日にアメリカ・コロラド州で開催されるヒルクライムレース「2014 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」にオリジナル EV レーシングカー（電気自動車）で参戦する。タイヤは優れた低燃費性能と運動性能を発揮する「BluEarth-A（ブルーアース・エース）」を装着する。

ゼロエミッションレーシングカーと低燃費タイヤで挑む「パイクスピーク EV チャレンジ」は、「走る喜びと環境との調和」「電気自動車用タイヤの研究開発」を目的としており、今年で6年連続となる。2010年と2011年には2年連続でEVの歴代最速記録を樹立し、2012は自己ベストを21秒以上短縮した。昨年はシステムエラーにより途中棄権となったが、今年はさらなる好成績を狙う。ドライバーは国内外のオフロードレースで活躍する埴郁夫選手を継続起用する。

今年92回目となる「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」は別名“雲に向かうレース”と呼ばれ、標高2,862mのスタート地点から4,302mの頂上までおよそ20kmを一気に駆け上がり、そのタイムを競う。156の様々なコーナーに加え、気温や天候の変化が激しい過酷なレースとして知られている。

レースウィークの現地での模様は「チーム・ヨコハマ・EV チャレンジ」専用サイト (<http://www.team-yokohama-ev.jp>) および「パイクスピーク EV チャレンジ」公式 Facebook (<http://www.facebook.com/yokohama.ev.challenge>) に随時アップしていく。なお、「チーム・ヨコハマ・EV チャレンジ」専用サイトでは「パイクスピーク EV チャレンジ」のこれまでの軌跡を動画や写真などで詳しく紹介している。



オリジナル EV レーシングカー（2013年）

■参戦車両スペック

チーム名		チーム ヨコハマ EV チャレンジ
参加車両		HER-02
ドライバー		埜郁夫
チーム監督		白井頭一（横浜ゴム株式会社）
タイヤブランド		YOKOHAMA BluEarth-A
タイヤサイズ	フロント	215/50R17 91V
	リヤ	275/40R18 99W
ホイールブランド		YOKOHAMA ADVAN Racing RGII
車両デザイン		佐藤健一（横浜ゴム株式会社）
搭載モーター		AC プロパルション 交流モーター
搭載バッテリー		パナソニック リチウムイオンバッテリー
冷却システム		リキッドクーリング
最大出力		190kW (258ps)
最大トルク		280Nm (207lb-ft)
全長		3,800mm
全幅		1,900mm
全高		1,100mm
ホイールベース		2,500mm
車両重量		1,150kg
駆動形式		ミッドシップ後輪駆動
サスペンション形式	フロント	ダブル A アーム
	リヤ	マルチリンク
ショックアブソーバー		キング
最高速度		250km/h (155mph)

■ドライバープロフィール

埜郁夫選手。1960年・茨城県出身。高校3年生の夏にフォーミュラバギーを駆って「全日本オフロードレース選手権」にデビュー。翌年には同選手権のB-1クラスでチャンピオンを獲得。25歳から4輪駆動車のレースにも参戦を開始、初レースで優勝を飾ると抜群の速さでステップアップを続け、日本オフロードレース界ナンバーワンの地域を確立する。1990年代には国内最高峰のオフロードレース「JFWDA チャンピオンシップレースシリーズ」で10年連続チャンピオンを獲得。2001年には公式戦100勝を達成した。活躍の場は日本に留まらず、1991年にはアメリカン・オフロードレースのビッグイベントであるBaja1000に初出場。日本人初完走(5位入賞)を飾ると、2002年にはクラス優勝を達成した。



このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）広報部 担当：坂本
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570